

企業向け

生成AI活用研修 [リスキング支援助成金対応]

AIを「使える社員」が、 会社の未来を変える。

国の助成金活用で、実質負担 約25% | Google Workspace × Gemini
完全対応 | 全10章・実践型 AI活用研修プログラム



Google Gemini



こんなお悩み、ありませんか？

- ☐ 「AIを導入したい」と思っているが、何から始めればいいのかわからない
- ☐ 無料のAIを試したが、業務で使えるレベルにならなかった
- ☐ 社員に使わせたいが、情報漏洩やセキュリティが心配
- ☐ AIが生成した内容の著作権やコンプライアンスが不安
- ☐ 一部の社員しか使いこなせず、組織全体に広がらない
- ☐ 研修を受けさせても、結局「使わないまま」で終わりそう
- ☐ 投資に見合う効果が出るのか、経営層を説得できない



AI活用企業と非活用企業の差は、広がり続けています。

◆ 生成AI導入企業の**72%**が
「業務効率が向上した」と回答
(2024年 経済産業省調査)



◆ 一方、「導入したが活用できていない」企業も**58%**存在
(2024年 民間調査)

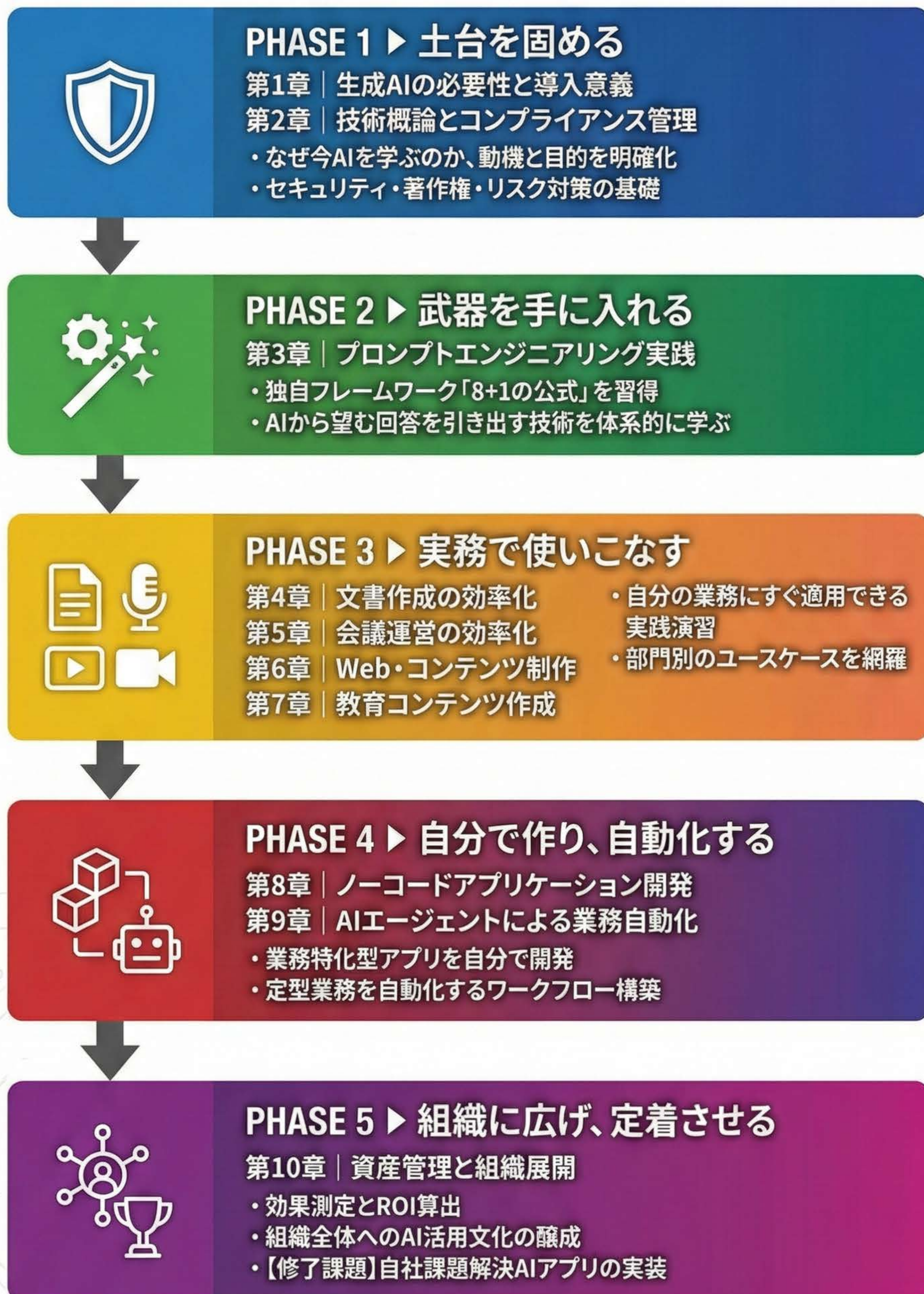


◆ 差がつくポイントは「社員教育」と「組織的な導入設計」

AIは「導入するかどうか」ではなく、
「**いかに早く、正しく使いこなすか**」の競争になっています。
本研修は、その課題を解決するために設計されました。

基礎から実践、組織展開まで。 全10章で「本当に使える力」を身につける。

本研修は、AI初心者から始めて、最終的には「自社の業務改善アプリを開発できるレベル」まで到達する実践型プログラムです。「知っている」ではなく「できる」を目指します。



選ばれる理由

本研修が持つ「3つの強み」

特徴 1

助成金活用で、実質負担 約25%



本研修は、厚生労働省の「人材開発支援助成金」(リスクリング支援コース)の対象です。要件を満たすことで、研修費用の最大75%が助成されます。通常では難しい本格的なAI研修を、低リスクで導入できるチャンスです。

【費用イメージ】 通常価格 20万円/人

↓
助成金適用後 **実質 5万円/人 (約75%OFF)**

※助成金の申請手続きもサポートいたします

特徴 2

Google Workspace 完全連携 学んだことが「翌日から」使える



本研修は、多くの企業で導入済みの Google Workspace と Gemini を基盤ツールとして使用。特別なシステム導入は不要。普段使っている Gmail、ドキュメント、スプレッドシートの中で AI を活用するスキルが身につきます。

【習得できる主な機能】

- Gemini Advanced (高度な対話・分析)
- Deep Research (自律型調査レポート作成)
- NotebookLM (資料分析・音声要約)
- Imagen 3 / Google Vids (画像・動画生成)
- Canvas (ノーコード開発)

特徴 3

修了課題は「自社の業務改善」 研修終了時に、成果物が手に入る



「学んで終わり」ではありません。

修了課題として、受講者一人ひとりが「自社の課題を解決する AI アプリケーション」を実際に開発・実装します。研修終了時点で、具体的な業務改善の成果物が手に入ります。

【修了課題の例】

- 社内FAQ自動回答ボット
- 営業提案書自動作成ツール
- 採用候補者スクリーニング支援
- 顧客問い合わせ分類システム

研修で身につく「6つの実践スキル」

本研修では、理論だけでなく「実際に手を動かす」ことを重視。
以下のスキルを、演習を通じて確実に習得します。



【スキル1】 プロンプトエンジニアリング

AIから望む回答を引き出す「指示の技術」を体系的に習得。独自フレームワーク「8+1の公式」により、誰でも再現可能な形でスキルが身につきます。

習得項目：変数設計、出力形式指定、ペルソナ設定、思考の連鎖、マルチモーダル対応 など



【スキル2】 ビジネス文書作成の効率化

提案書、企画書、報告書、メール…
日常的に作成するビジネス文書を、AIと協働して高品質かつ短時間で作成する技術を習得。

活用ツール：Gemini、Deep Research、Workspace連携



【スキル3】 会議・コミュニケーションの効率化

会議の議事録作成、アクションアイテム抽出、事前のアジェンダ整理など、会議周辺業務を自動化。「会議のための仕事」から解放されます。

活用ツール：音声文字起こし、NotebookLM、Workspace連携



【スキル4】 コンテンツ制作 (画像・動画・Web)

広告素材、SNS投稿、プレゼン用画像、研修動画…
外注していたクリエイティブ制作を、社内で迅速に行えるようになります。

活用ツール：Imagen 3、Google Flow、Vids、HeyGen



【スキル5】 ノーコードアプリケーション開発

プログラミング経験がなくても、業務に特化したAIアプリを自分で開発。IT部門に依頼せず、現場で課題を解決できます。

活用ツール：Canvas、API連携



【スキル6】 AIエージェントによる 業務自動化

複数のステップを自動で実行する「AIエージェント」の設計・活用方法を習得。定型業務からの解放を実現します。

活用ツール：Project Mariner、ワークフロー自動化ツール

あなたの部門では、こう変わる。 部門別 AI活用シーン

「AIは便利そうだけど、自分の仕事にどう使えるの？」
部門別の具体的な活用シーンをご紹介します。



【営業部門】

Before

🕒 提案書作成に半日かかる

- ✓ 顧客に合わせた提案書のカスタマイズ
- ✓ 競合分析レポートの自動作成



After

🕒 骨子作成～ドラフト完成まで30分

- ✓ 商談前の業界動向リサーチ
- ✓ メール・スカウト文面の作成効率化



【管理部門（総務・経理・人事）】

Before

🕒 議事録作成に会議と同じ時間がかかる

- ✓ 会議議事録の自動作成
- ✓ 社内規程・マニュアルの検索・要約



After

🕒 会議終了5分後に議事録ドラフト完成

- ✓ 採用候補者のスクリーニング支援
- ✓ 研修資料・教育コンテンツの内製化



【マーケティング部門】

Before

🕒 SNS投稿のネタ出しに毎週苦労

- ✓ SNS投稿・広告コピーの大量生成
- ✓ ブログ記事・メルマガの作成効率化



After

🕒 1週間分のコンテンツを1時間で準備

- ✓ キャンペーン企画のアイデア出し
- ✓ 広告用画像・動画の内製化



【企画・経営企画部門】

Before

🕒 市場調査レポートに2週間

- ✓ 市場調査・競合分析の効率化
- ✓ 新規事業企画書のドラフト作成



After

🕒 初期調査～レポート骨子まで1日

- ✓ 経営会議資料の作成支援
- ✓ 中期計画策定のための情報収集



【製造・技術部門】

Before

🕒 マニュアル更新が後回しになりがち

- ✓ 業務マニュアル・作業手順書の作成
- ✓ 技術文書の翻訳・要約



After

🕒 変更点を入力するだけで自動更新

- ✓ 品質管理レポートの作成効率化
- ✓ トラブル事例のナレッジ化

これらはほんの一例です。

研修では、受講者自身の業務に合わせた活用方法を見つけていただきます。



安心して導入いただける理由



準拠基準 | デジタルスキル標準 準拠カリキュラム

本研修は、経済産業省・IPAが策定した「デジタルスキル標準」に準拠した設計です。国が定めるスキル体系に沿った学習により、組織として求められるデジタル人材の育成を実現します。

デジタルスキル標準 準拠



セキュリティ・コンプライアンス | 企業利用に必要な安全対策を徹底

- ✓ 情報セキュリティポリシーの策定方法を指導
- ✓ 機密情報の取り扱いルールを明確化
- ✓ 著作権・知的財産権の基礎知識を習得
- ✓ ハルシネーション (AI の誤情報) 対策を徹底
- ✓ 社内ガイドライン策定のテンプレート提供

Google Workspace (法人版) は、入力データがAIの学習に使用されない設定が可能です。



助成金制度について | 人材開発支援助成金 (リスキリング支援コース) 対応

本研修は、厚生労働省が実施する「人材開発支援助成金」の対象です。

【助成内容】

- ・経費助成：研修費用の最大 75%
- ・賃金助成：研修中の賃金の一部

【主な要件】

- ・雇用保険適用事業所であること
- ・研修計画の事前届出
- ・所定の研修時間を満たすこと

※詳細な要件確認・申請手続きはサポートいたします

最大
75%
助成



講師について | 実務経験豊富な講師陣



「企業 A | 研修 ライモ Biz」 開発者

株式会社 エキスパート
代表取締役

七里 信一

導入までの流れ



STEP 1 ▶ 無料相談・ヒアリング

貴社の課題、研修の目的、対象者をヒアリング。
最適な研修プランをご提案します。



STEP 2 ▶ 助成金申請サポート

助成金の要件確認、申請書類の準備を専門スタッフがサポートします。



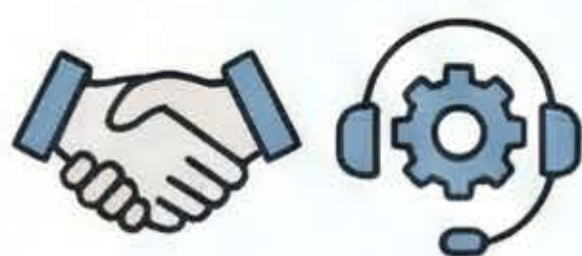
STEP 3 ▶ 研修実施

全10章のカリキュラムを、貴社のスケジュールに合わせて実施。



STEP 4 ▶ 修了課題・効果測定

自社課題を解決するAIアプリを開発。研修効果を数値で可視化します。



STEP 5 ▶ 継続サポート

研修終了後も、活用定着に向けたフォローアップを提供します。

料金イメージ

【通常価格】
200,000円/人

【助成金活用後の実質負担】
約 50,000円/人
(最大75%助成適用時)

※受講人数、研修形式により変動します ※詳細はお問い合わせください

まずは無料相談から お気軽にお問い合わせください

TEL : 045-680-1747

MAIL: ai-biz@yokohama-shachu.com

WEB : <https://yokohama-shachu.com>



QRコード
← 詳細・お申込み
はこちら

【無料セミナー開催中】

「AI導入の第一歩」がわかる経営者向け無料セミナーを定期開催しています。
詳細・お申込みは上記QRコードから